

は他社をしのいでいる。見学は、銅裸線工場、アルミ線工場、被覆線工場、合成樹脂電線工場、動力、通信用電線ケーブル工場、技術部（検査課、研究課）等の順で回った。銅裸線工場では電気銅を溶解し、インゴットを造り、それを圧延し、完全なる疵取りを行い連続伸線機にて各種の裸銅線、平角線を製造している。月産裸線 650 t の由である。

被覆線工場では心線として裸線にゴム、合成ゴム、綿糸、絹糸などを絶縁被覆している。アルミ線工場では送電用鋼心アルミ撚線月産 200 t の由である。合成樹脂電線工場では、ビニール線、ポリエチレン線、ナイロン線など合成樹脂被覆を行い動力、通信用電線ケーブル月産 80 t の由である。本邦有数電線ケーブルメーカーとして隆盛の一途をたどりつつある。技術部では試験用高圧設備（試験高圧 80 万～120 万 Volt）では高圧ケーブルを当社内で厳重な試験検査を行い製品の優秀性を保証している。当社の製造用機械は総数 1 千台余を数えている。見学を終ってから遠慮ない質疑応答をして頂き得る所が多かった。尙懇切なる昼食の御接待を受け午後一時半見学班代表者から会員を代表して謝辞を述べた後散会した。（木内昭季）

夜の東京観光（第 23 班，昭 31—4—4）

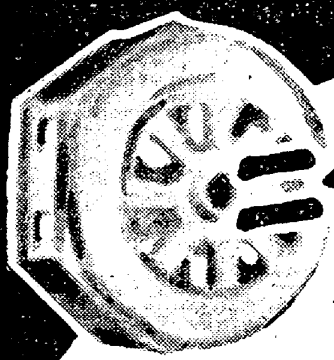
4 月 4 日午後 5 時半「夜の東京観光」の参加者一行 27 名，東京駅降車口前広場に集合。「人口凡そ 800 万，わが国総人口の 1 割を擁し，世界第 2 位を誇る首都東京！幾変遷と伝説を綴る遺跡と名勝に郷愁を秘めた近代都市東京！その東京の今昔を偲びながら，今宵ひととき，ネオン輝く繁華街に，静まり返った大川端の辺りに興味深い数々の下車場所に，昼とは異つた「夜の東京」のも

つ雰囲気と情緒を心ゆくまで満喫して頂く」という案内記を読んで，少なからぬ期待を抱きながら一台の“はと”バスに乗車午後 6 時東京駅を発つた。

車は緑深き皇居前の広場を横切つて神田を，後楽園のローラースケート場に着く，ただ見るコンクリートの床上に乱舞する幾百のスケーターの姿は見る者をして青春の気を湧立たせるものがある。

次いで車は上野を経て浅草にいたる。浅草寺前の仲見世は，すっかり復興し，土産物屋が軒を連ねており，これに隣り合う公園と六区の娛樂街一帯の雰囲気はそぞろに，幼い日の懐しい夢に誘い込ましめる。天保 8 年創業以来百有余年の歴史を有つという，東京で最も古い天ぷら屋三定で簡単な夕食をとり，少憩の後車は吾妻橋を渡り大川端に沿つて本所の静かな通りを一巡，東京温泉に着く。銀座の真中に現われた地上 3 階地下 1 階建の白壁の殿堂，こゝに下車して各自思い思いに入浴，中にはエキゾチックなトルコ風呂に浸つて連日の疲れを休める者もある。更にこゝを発つて今度は木挽町の歌舞伎座，昭和 25 年 3 億 1 千万円の巨費を投じて再建された桃山風御殿造りの建物は見るからに壮麗，折から吉右衛門劇団の都鳥廓白浪が開演中であつたが，立見席から望む場内に立ちこめる絢爛たる雰囲気には私たちは暫く古典の世界に融け込ましめられた。

歌舞伎座を出てから銀座を過ぎ日比谷を経て東京駅に帰着し，散会したのは丁度 10 時であつた。「美しい鶯嬢の案内で 4 時間もバスに乗り，温泉に入つたり，名物の夕食を認めたり，おまけに歌舞伎まで見物し，それで 500 円の会費とは安いものだ」とは参加者一同の声であつた。（橋本記）



材質・作業能率の飛躍的向上に……


三イガタのミ-ハナイト+アル

特長

- a. 強度、靱性及び剛性が特に高い
- b. 耐摩耗性振動吸収能及び切欠抵抗性が大きい
- c. 鑄造後の変形、経年変形が少い
- d. 機械加工性が良好で精密仕上が可能

種類

- 一般機械用（Gタイプ）
- 耐熱用（Hタイプ）
- 耐摩耗用（Wタイプ）
- 耐蝕用（Cタイプ）
- 粒状黒鉛（GSタイプ）



株式会社 新潟鐵工所

本社 東京都千代田区九段1-6 電話 (33) 8391-8491
支社 大阪・新潟 営業所 名古屋・札幌・下関

新潟製鋼工場 新潟市入船町4の3 776
電話 新潟(2)6121-8
蒲田工場 東京都大田区本蒲田5の4
電話 蒲田(73)2131-5